

令和元年度京田辺市社会福祉協議会事業報告書

昨年策定した第3次京田辺市地域福祉活動計画『お互いさんの心と絆ではぐくむ心豊かなまち 京田辺～育てよう 支えあう 絆でつなぐ ふれあいネットワーク～』を基本理念として、各種福祉事業に取り組みました。

本年度初めて『I♥京田辺ふれあいワークショップ』と題して、11月に各地域の区長・自治会長や民生児童委員、分会長による懇談会を市内5つの地域に分けて、各地域での取り組み内容をはじめ自慢できることは何か、逆に地域の課題や気になることは何かなどについて語り合う情報交換・情報共有の場として、これからの地域福祉活動に向けて有意義な時間となりました。また、10月には京田辺市フードバンク運営委員会を立ち上げ、フードドライブや食品ロスを減らすための活動も行いました。介護保険事業では、常磐苑でのデイサービス事業において、今年から営業時間の延長や土曜日の一部営業も始めましたが収入増加とはならず、合わせて社協会費やチャリティーバザー、共同募金などの財源は減少しており、本会の運営並びに福祉事業の推進に厳しい状況に変わりはありません。

特に昨年12月に中国湖北省の武漢市において、新型コロナウイルス感染症の発生が報告されて以降、世界中にその感染が広がり、本会においても「新型コロナウイルス感染症への対応方針」を策定するなど、感染拡大を防止するため2月中旬以降の各種事業等の中止や延期を余儀なくされる事態となりました。今回の新型コロナウイルス感染症は、感染への不安とともにあらゆる分野に重大な影響を及ぼす中で、法人化50周年という節目を向かえる次年度は、ウイルスの感染予防に努めながら、可能な限り社協活動を再開し、これまで以上に市民の暮らしや思いに向き合いながら新たな地域福祉活動の展開が必要であると感じました。

1 社協組織の基盤整備と関係団体との連携強化

(1) 社協基盤の強化と組織活動の充実

① 社協会員加入状況（※カッコ内前年度）

6、7月の2ヶ月間を社協会員募集月間とし、各分会において地域役員の協力ならびに市内の各福祉施設や団体へ会員の募集を行いました。

会員数：7,941名（8,055名）

内訳 普通会員：7,127名（7,253名）

特別会員：788名（776名）

賛助会員：26名（26名）

その他、施設会員：13施設（13施設）

② 支部、分会組織の活動の推進と助成金の交付

小地域福祉活動の基盤と組織的活動の推進をはかるために申請のあった支部（3支部、円）分会（33分会、676,777円）に対し、活動費を交付しました。

(2) 財源の確保と造成（※カッコ内前年度）

① 会費総額：4,737,900円（4,791,300円）

② 寄付金総額：746,950円（753,600円）

一般寄付（個人、団体、分会）29件の寄付を賜りました。

③ 第40回チャリティーバザーの開催

財源の確保を目的に令和元年11月2日(土)に社会福祉センターで開催。支部ごとの値付作業及び当日の協力者として215名(職員等含む)の方に協力いただいた。

- ・提供者数：1,977名(2,065名)
- ・提供品数：7,638点(7,367点)
- ・売上：933,836円(1,000,685円)
- ・収益：742,057円(854,780円)

(3) 共同募金事業(※カッコ内前年度)

① 赤い羽根共同募金

区・自治会(分会)や市内企業の協力を得て、市内での募金運動を展開しました。

- ・募金総額：4,280,478円(4,424,454円)
- 内訳 戸別募金：3,779,627円(3,958,797円)
- 企業募金：247,600円(325,000円)
- その他：253,251円(140,657円)

平成30年度の募金額をもとに京都府共同募金会からの配分金により各種事業(当轄団体や福祉協力校への助成、社協だよりの発行、弁護士相談委託料等)を実施しました。

② 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに12月1日から募金運動を実施し、集められた募金は、京田辺市共同募金委員会・審査委員会において審議し、年末、年始にかけて次のとおり配分しました。

- ・募金総額：4,187,753円(4,291,932円)
- 内訳 戸別募金：3,979,821円(4,241,999円)
- その他：207,932円(49,933円)

配分内容	金額	備考
見舞金(701名)	2,103,000	(見舞金)
おせち料理(180名)	594,000	身体障害者手帳保持者(1.2級):395名 療育手帳保持者(A.B):163名
公募による活動補助(35件)	519,000	ひとり親世帯:76名 精神障害者(1.2級):67名
社協カレンダー(3000部)	510,000	(おせち料理)
事務費	100,000	要介護認定1以上で70歳以上のひとり暮らし高齢者と要介護認定1以上の80歳以上の高齢者世帯等
次年度繰越金	361,753	
合計	4,187,753	

(4) 広報、啓発活動

① 社協だよりの発行

「京田辺市社協だより(第165号~第168号)」年4回(6月、9月、11月、2

月)発行、全戸に配布し、ボランティアや福祉情報の掲載、活動の啓発を通じて、社協活動への理解と意識の高揚、参加促進をはかりました。

② ホームページによる情報の提供

本会の活動やボランティアグループ等の活動を紹介、啓発するためのホームページを適時更新しました。

(5) 社会福祉センターの指定管理 (※カッコ内前年度)

① 社会福祉センターの指定管理

- ・開館日数：339日(344日)
- ・年間利用件数：3,145件(3,156件)
- ・年間利用者数：45,155名(44,552名)

② 社会適応訓練事業所「喫茶りあん」の運営

精神障害のある方の社会参加や就労支援を進めるために事業所で働くことを通して社会生活適応のための場として8年が経過しました。

- ・営業日数：174日(185日)
- ・年間利用者数：5,524名(5,631名)

○りあんへいこっ！プロジェクトの開催(9回) 参加者：120名

地域交流スペース「喫茶りあん」が子どもから高齢者まで、男女問わずどなたでも利用していただける場所になるようにと様々な講座を開催しました。

- ・4月「コーヒーの淹れ方教室」
- ・5月「家事の悩みにお答えします！家事相談室」
- ・6月「暮らしのアロマ活用講座・エアーフレッシュナー作り」
- ・7月「玉露のおいしいいれ方教室」
- ・8月「夏休み工作教室・竹風鈴作り」
- ・9月「エンディングノートの書き方(終活)教室」
- ・10月「アロマ活用講座①休息編・ハーブボール作り」
- ・11月「アロマ活用講座②楽しみ編・バスボム作り」
- ・12月「絵本の楽しみ方講座」
- ・2月「一緒に考えよう！防災教室」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ 「いつでもだれでも」の開設

乳幼児の親子の子育てを支援するために、親子同士の交流や悩みなどを意見交換し合える居場所づくりにと、原則月2回第1・3水曜日に講習室を開放しました。※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・年間参加者(親子、学生ボランティアなど)：834名(958名)

④ 第4回社会福祉センターまつりの開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・開催日：令和2年3月7日(土)

(6) 会務の運営及び運営組織の見直し

- ① 理事会 4回
- ② 評議員会 2回
- ③ 監事会 1回

- ④ 専門委員会等
 - ・ふれあい福祉委員会 3回
 - ・在宅サービス委員会 2回
 - ・ボランティアセンター運営委員会 2回
 - ・ふれあい福祉相談委員会 2回
- ⑤ 共同募金運営委員会・分会長会 3回
- ⑥ 社協チャリティバザー実行委員会 1回

(7) 役職員研修会等への参加

① ふれあい福祉課関連

府社協関連

市町村社協連合会総会、府社協会長・事務局長会議、中期計画会議、山城ブロック会長事務局局長会議、京都府社会福祉大会、福祉サービス利用援助事業生活支援員新任研修・専門員担当職員会議、山城北中部広域社協合同講座視察研修、職連協つどい部会・肉フェス、生活福祉資金貸付事業担当職員研修、ボランティア入りロデザインプロジェクト会議、京都府災害ボランティアセンター総会・全体研修会・初動支援チーム初級研修・初動支援チーム中級編フォローアップ講座・ボランティア担当者会議、市町村社協ボランティア担当者会議、処遇改善加算取得セミナー、京都府相談支援従事者初任者研修、福祉リーダーの極意を学ぶセミナー、コーチングを活かしたアガーマネジメント、京都地域福祉創生事業わかプロジェクト、福祉職場組織力向上セミナーⅠ、社会福祉専門セミナーⅡ、認知症リンクワーカーフォローアップ研修、企業内人権啓発推進員研修会・セミナー、社会を明るくする運動綴喜地区研修大会、法律相談委託団体相談担当職員研修、向日市災害ボランティアセンター設置運用研修、災害多言語支援センター設置運営研修、近畿地域福祉学会、市人権問題研修会、市避難所運営研修、安全運転講習会

② 在宅サービス課・ホームヘルプセンター関連

介護保険サービス事業所等に係る集団指導、障害福祉サービス事業所に係る集団指導、キャリアアップ研修（中堅）、難病患者等ホームヘルパー養成研修、福祉職のためのマナー研修～ここに寄り添うコミュニケーション術、京田辺市介護保険サービス事業所連絡協議会研修会「倫理と高齢者虐待について」「在宅での服薬について」

③ 在宅サービス課・ケアプランセンター関連

令和元年度京田辺市認定調査員研修（現任）、京田辺市介護保険サービス事業所連絡協議会研修会、倫理の研修、認知症の研修、プライバシーの研修、介護支援専門員等研修、主任介護支援専門員研修、認知症リンクワーカーフォローアップ研修、「家で最後まで生きる」を支えるための多職種研修会、神経筋難病研修会、意思決定支援研修、困窮者支援研修、口腔ケアと嚥下について、感染対策研修

④ 在宅サービス課・常磐苑デイサービスセンター関連

中堅職員キャリアアップ研修記録の書き方、非常災害時の対応、認知症ケアについて、AED研修

2 小地域福祉活動の推進と普及

(1) I♥京田辺ふれあいワークショップの開催

各地域の区長・自治会長や民生児童委員、分会長による懇談会を市内5地域に分けて開

催しました。このワークショップは、本会としてはじめて開催するもので、参加者をグループに分けて、①各地域で行っている行事などの取組や自慢できることは何か、②各地域での気になることや課題は何かについて、語り合う情報交換・情報共有の場として、地域で活動する方のつながりを深めるなど今後の小地域福祉活動の基盤づくりに向けて開催しました。

- ・開催日：令和元年11月14日（木）松井山手地域（参加者：20名）
令和元年11月18日（月）草内地域（参加者：28名）
令和元年11月21日（木）田辺地域（参加者：36名）
令和元年11月25日（月）三山木普賢寺地域（参加者：33名）
令和元年11月28日（木）大住地域（参加者：35名）
- ・講師：足立 隆司 氏（京都府社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課長）

（2）地域ひとつなぎ事業

高齢者の孤独や孤立を防ぐことを目的に、住民や地域組織主体で展開される戸別の訪問活動への支援をする「地域ひとつなぎ事業」として助成金を交付。

- ・助成団体（3団体）：一休ヶ丘分会、南山西分会、東区第4ブロック安全安心見守り隊

（3）ふれあいサロン活動（※カッコ内前年度）

地域（区・自治会(分会)）において、高齢者の地域参加の促進や見守り、子育て支援、住民同士の交流などを目的とした活動に対し支援を行いました。

- ・活動助成金交付額：1,864,910円（2,077,500円）
- ・交付を受けた分会団体等数：43件（47件）

分会等：東林、三野、松井ヶ丘、大住ヶ丘1丁目、3丁目、大住ヶ丘連合、山手東、山手南、健康村、健康ヶ丘、花住坂、薪、一休ヶ丘、田辺、河原、草内、飯岡、東住宅、新興戸、同志社住宅、出垣内、田辺団地、南山東、南山西、多々羅、普賢寺、水取

民児協：山手南西、健康村、大住ヶ丘、薪

老人会：三野、岡村、ファインパーク、西住宅

その他：大住ヶ丘子ども夏まつり実行委員会、山手東子ども会、東区第4ブロック安全安心見守り隊、興戸健康という財産を守る会、にこにこ茶話会、さくらんぼ、打田ファミリー'S、イベント実行委員会

（4）第8回きょうと地域福祉活動実践交流会

令和元年12月7日（土）、京都府内で地域福祉活動やボランティア活動を行う実践者が一堂に集う交流会が京都府丹後文化会館で開催されました。今回は『地域福祉の歴史～昭和・平成、そして令和 求められる福祉の形とは～』をテーマに、基調講演『歴史から学ぶ支え合いのカタチ』（講師 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏）や京丹後市で活動するNPO法人気張る！ふるさと丹後町と元町区福祉委員会から実践報告が行われました。第9回は令和2年11月28日（土）に宇治市で開催予定。

（4）絆ネット構築支援事業

- ① 地域ネットワーク会議及び地域活動支援

区・自治会単位で、より深く情報交換や課題解決を検討する地域ネットワーク会議及び見守り活動、サロン活動の支援、地域研修会を行いました。

② I♥京田辺ふれあいワークショップ

③ 地域包括ケア会議

地域包括支援センター（市役所、宝生苑、常磐苑）が開催する地域包括ケア会議に参加して、地域の取組や課題を伝え、支援や課題について検討することで、関係機関と連携した支援体制の構築を行いました。

④ 買い物支援ボランティアの養成（お助けマン実証実験）

地域包括支援センターと協力して買い物支援に関心のあるボランティアの募集を行い、生協花住坂店の協力で店内の実証実験を行いました。買い物支援ボランティアを求める声を多数いただきました。

○第1回

- ・開催日：令和元年10月15日（火）14：00～16：00
- ・参加者：238名（生協サポートカー利用者と一般客）

○第2回

- ・開催日：令和2年1月14日（火）9：30～11：30
- ・参加者：地域包括利用者より歩行困難など必要性の高い希望者を募って実施

⑤ 認知症声かけ訓練

地域包括支援センターと協力して花住坂自治会で実施。公園を利用して包括職員が務める高齢者役に各班長が声かけをしました。

- ・開催日：令和元年11月2日（土）11：00～12：00
- ・参加者：56名（自治会役職員、民生委員）

⑥ 生活支援コーディネーター会議

毎月月末に市生活支援コーディネーターと会議を持ち、情報交換や連携確認、生活や買い物の困りごとの調査などを行いました。

⑦ SOS ネットワーク連携訓練

- ・開催日：令和2年1月24日（金）

⑧ 警察・消費生活センターと連携した特殊詐欺被害の防止活動

増え続ける高齢者に対する特殊詐欺の被害を防止するため、警察や消費生活センターと連携して、地域の高齢者サロン等で防犯教室や啓発資材の配布などの予防活動を行いました。なお、民生委員を対象にした研修会を2月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため延期しました。

⑨ 企業見守りの支援、研修会の開催

○令和元年6月20日（木）と令和2年2月12日（水）

京田辺市商工会と企業の見守りについて、2回意見交換と協力要請をしました。

○令和元年9月26日（木）

KYOTO COOP 南ブロック事務局と懇談会を行い、それぞれの取組について情報交換と今後の協力を確認しました。

○企業による地域研修会

- ・開催日：令和2年2月18日（火）
- ・参加者：府営田辺団地の役員、民生委員、老人会、住民

- ・内 容：薬の正しい使い方～気になることはなんでも相談

講師：ゆう薬局 志摩 大介 氏

その他、市内あんしんサポート企業や賛助会員企業を対象として、企業見守り研修会を3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

3 福祉教育・ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア登録と受給調整（※カッコ内前年度）

- ・登録団体：47団体（49団体）
- ・準登録団体：11団体（11団体）
- ・登録者数：1,100名（1,210名）内個人ボランティア87名（93名）
- ・活動回数：1,218回（1,209回）
- ・活動延べ人数：2,553名（2,904名）

② リフトカー「ふれあい号」及び「やまびこ号」による送迎サービス

- ・利用登録者：82名（69名）
- ・運行回数：613件（782件）
- ・送迎ボランティア：23名（20名）

○安全運転講習会の実施

- ・開催日：令和2年3月24日（火）
- ・参加者：9名
- ・講師：福井 尚起 氏（京都あんしん保険代表取締役）
- ・内 容：事故の初動対応やあおり運転と人間の視覚の限界についての講義。

③ ふれあいテレフォンサービス事業の実施

ボランティアグループ「たんぼぼ」13名が、自宅や社会福祉センターのテレフォン室から各対象者に電話による友愛訪問、安否確認を行った。（※カッコ内前年度）

- ・サービス利用者：21名（23名）
- ・サービス回数：408回（396回）
- ・通話延べ時間：3,014分（2,693分）

また、サービス利用者とボランティアとの交流会なども開催しました。

○七夕まつりの開催

- ・開催日：令和元年7月5日（金）
- ・参加者：53名（利用者9名、たんぼぼ9名、聖愛幼稚園35名）
- ・内 容：利用者とボランティア等で七夕飾りづくり、紙芝居（塚田高志氏）、たんぼぼによるマジックショー

○テレフォンサービス交流会

- ・開催日：令和元年10月21日（月）
- ・参加者：13名（利用者8名、たんぼぼ5名）
- ・内 容：コスモス畑散策と会食交流会

○テレフォンサービス研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④ 活動基盤整備事業

- 活動機材（コピー機、ボランティア室、倉庫）の管理

- 本会登録ボランティアのボランティア保険への加入（基本Aプラン300円）
- ⑤ 「声の広報ほっと京田辺」「声の京田辺市議会だより」「声の学びの情報誌」の受託市からの委託を受け、朗読ボランティアサークル「せせらぎ」（CDへの吹き込み）、点字サークル「すみれ」（点字シールの作成）の協力により作成し、視覚障がい者など希望者へ送付しました。
 - 「声の広報ほっと京田辺(60分)」は年間22回（各30～33本制作）
 - 「声の京田辺市議会だより(60分)」は年間4回（各21本制作）
 - 「声の学びの情報誌(60分)」は年間4回（各10本制作）
- ⑥ ボランティア養成講座等の実施
 - 点訳奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和元年6月7日（金）～7月26日（金）[全8回]
 - ・講師：田辺点字サークル「すみれ」会員（受講者：4名（内修了者4名））
 - 朗読奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和元年9月3日（火）～12月10日（火）[全12回]
 - ・講師：朗読ボランティアサークル「せせらぎ」会員（受講者：6名（内修了者3名））
 - 要約筆記奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和元年9月19日（木）～10月24日（木）[全6回]
 - ・講師：要約筆記ボランティアサークル「たけのこ」会員（受講者：5名（内修了者4名））
 - 車イス体験施設ふれあい講座（2回）※中止
 - ・開催日：令和元年7月18日（木）、11月14日（木）
 - スマホで動画制作ボランティア講座（2回）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期
 - ・開催日：令和2年3月2日（月）、16日（月）
 - ・講師：呉 鴻 氏（㈱デンキトンボグローバルコーディネーター）
- ⑦ ボランティアグループ活性化促進事業
 - 和太鼓入門講座（和太鼓サークル「輪」）
 - ・実施日：令和元年7月3日（水）（参加者：15名）
 - ・講師：富治林 浩 氏（日本太鼓財団一級公認指導員）
 - ・内容：和太鼓に親しんでもらうことと施設訪問や地域交流活動へともに参加いただける方を増やすことを目的に開催し、参加者には通常の練習と同様の流れで体験。
 - ぶつからない車を作ろう（京田辺子ども文庫連絡会）
 - ・実施日：令和元年7月20日（土）（参加者：36名）
 - ・講師：上橋 智恵 氏
 - ・内容：市内の小学生を対象に、赤外線反射型センサーモジュールを使用して自動停止の仕組みを学びました。
 - 朗読研修会（朗読の会“萌え”）
 - ・実施日：令和元年7月23日（日）～11月5日（火）（参加者：9名）
 - ・講師：前田 綾子 氏
 - ・内容：中学校の教科書の小説やエッセーを用いて、文章の捉え方やアクセント、声の出し方などの技術を学びました。
 - 学ぶことは生きること（京田辺市民日本語読み書き教室）

- ・実施日：令和元年10月27日（日）（参加者：62名）
- ・講師：前川 喜平 氏（元文部科学省事務次官）
露の新治 氏（落語家）
- ・内容：夜間中学でボランティア活動をされてきたそれぞれの立場から、今、夜間中学をつくることの意義や課題についてシンポジウム形式での講演会。

○姿勢美人講座（リ・アンジェ）

- ・実施日：令和元年12月5日（日）（参加者：11名）
- ・内容：自分自身の体の状態やクセを知り、ストレッチを実践。

⑧ 京田辺市フードバンク運営委員会の立ち上げと運営

令和元年10月3日（木）にボランティアグループのフードバンク京田辺を中心とした委員会を立ち上げ、月1回の例会や各家庭で余っている食品を収集して福祉団体等へ提供した。また、コープ京田辺や同志社国際中学校等にはフードドライブへの協力と啓発活動を行いました。

⑨ ボランティア活動の啓発と普及

○京田辺市社協ボランティアセンター活動展

- ・開催日：令和元年10月23日（水）～27日（日）
- ・来場者：延べ150名（協力ボランティアスタッフ18名）
- ・内容：田辺中央図書館「ギャラリーかなび」で、登録するボランティアグループの活動をパネル展示やVTRで紹介・啓発するとともに、ボランティア相談や災害ボランティアセンターの紹介などを行いました。

⑩ 組織強化事業

○ボランティアグループへの活動補助金の交付

[京田辺市社協からの補助金：1,153,000円]

- ・一般助成：680,000円（39グループ）
- ・特別助成：473,000円（13グループ）

[京都府社協からの補助金：215,064円]

- ・スタートアップ支援補助金（ほっぷ）：96,000円（4グループ）
- ・ボランティア活動継続支援補助金（すてっぷ）：49,064円（1グループ）
- ・ボランティア活動特別補助金（じゃんぷ2次）：70,000円（1グループ）

○バス借り上げ補助：589,906円（9グループ等）

○ボランティア連絡協議会の活動支援

[活動補助金の交付：300,000円]

[管外研修の開催]

- ・開催日：令和元年11月22日（金）（参加者：32名）
- ・行き先：川村義肢株式会社と石切神社

⑪ TANABE♡PROJECT

学生がボランティア活動や地域の人たちと出会い関わりを持つきっかけの場づくりとして、「ASUVID 京田辺(同志社大学ボランティアサークル)」、「同志社大学ボランティア支援室」、「同志社女子大学ボランティア活動支援センター」で意見交換を行いました。

○第1回打ち合せ会議：令和元年6月28日（金）

○いつでもだれでもミニ夏まつりへの協力：令和元年8月7日（水）

⑫ 災害ボランティアセンターの運営と体制強化

○災害ボランティア事前登録者の状況（※カッコ内前年度）

- ・事前登録者：個人51名（48名）、6団体179名（5団体165名）

○京田辺市災害ボランティアセンター設置・運用研修

- ・開催日：令和2年2月22日（土）（参加者：31名）
- ・講師：篠村 崇 氏（京都府災害ボランティアセンター）
- ・内容：演習「災害時体制への移行シミュレーション」についてグループワーク

○災害ボランティア出前講座の実施（5回）

健康ヶ丘分会福祉部

- ・開催日：令和元年7月8日（月）（参加者：30名）
- ・内容：講義「災害に備えるために」

東区第4ブロック安全安心見守り隊

- ・開催日：令和元年10月17日（木）（参加者：25名）
- ・内容：講義「災害に備えてできること」と防災ゲーム「クロスロード」

田辺中学校1年生

- ・開催日：令和元年11月21日（木）（参加者：60名）
- ・内容：講義「災害に備えてできること」

桃園小学校5・6年生

- ・開催日：令和元年11月29日（金）（参加者：236名）
- ・内容：講義「福祉・防災学習」と防災ゲーム「なまずの学校」

田辺小学校3年生

- ・開催日：令和2年1月8日（水）（参加者：113名）
- ・内容：講義「福祉・防災学習」と防災ゲーム「なまずの学校」

りあんへいこっ！プロジェクト ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・開催日：令和2年2月27日（木）
- ・内容：講義「防災って何だろう」

○京田辺市災害ボランティアセンター運営委員会の開催（2回）

○防災とボランティア週間の取組

令和2年1月15日（水）から21日（火）の間、事前登録者の募集を啓発した。

○京田辺市避難所運営訓練への参加

- ・開催日：令和元年8月25日（日）（参加者：22名）
- ・会場：桃園小学校、松井ヶ丘小学校

○京田辺市防災講演会への参加

- ・開催日：令和元年12月17日（火）（参加者：11名）
- ・内容：講演 『地域における防災活動の取り組みについて』
講師 小山 真紀 氏（岐阜大学流域圏科学研究センター）

○京都府災害ボランティアセンターでの災害支援活動

令和元年台風19号災害により10月25日（金）から11月28日（木）の第8クールで、府災ボラから福島県郡山市、須賀川市への支援あり。

(2) 福祉教育の推進事業

① 市内小中学校への助成金の交付と福祉教育の推進

福祉教育の実践と将来を担う子供たちへ「福祉の心」を育むべく、各学校単位で独自取り組む福祉教育活動を支援するために助成金を交付しました。

小・中学校	各学校での主な取り組み	補助金額
松井ヶ丘	視覚障害理解、アイマスク体験、手話体験、車いす体験、認知症講座、夏の地域学校、親子勤労体験(学校美化作業)、花いっぱい運動	40,000 円
大住	点字体験、手話体験、しめ縄づくり、安全人形設置、左義長、認知症講座	40,000 円
桃園	点字体験、花いっぱい運動、洛南寮訪問、夏の地域学校、とんど、ふれあいフェスタ、クリーンアップ大作戦、昔遊び体験、防災学習	40,000 円
薪	視覚障害理解、アイマスク体験、手話体験、車いす体験、認知症講座、花いっぱい運動、夏季環境美化活動、地域住民との交流	40,000 円
田辺	手話体験、車いす体験、防災学習、点字体験、昔遊び体験、ふるさと田辺体験学習、夏の地域学校	40,000 円
田辺東	手話体験、車いす体験、認知症講座、読み聞かせ、障害についての調べ学習	40,000 円
草内	昔遊び体験、車いす体験、認知症講座、視覚障害理解、手話体験、盲導犬理解、夏の地域学校、読み聞かせ、野菜花のプレゼント	40,000 円
三山木	視覚障害理解、車いす体験、手話体験、花いっぱい運動、ふれあいの里との交流、夏の地域学校、運動会招待状づくり	40,000 円
普賢寺	車いす体験、作業所との交流、じゃんぼ年賀状配達、なつかしの歌、運動会招待、夏季環境整備活動、標語ボールペン配布、視覚障害理解、昔遊び体験、認知症講座	40,000 円
大住中	花いっぱい運動、福祉体験学習(車イスバスケットと視覚障害者からの講話)夏の地域学校	40,000 円
田辺中	夏の地域学校、心待ち運動(募金活動と福祉施設の訪問)、福祉体験学習(車イススポーツの方の講演と体験)、SDGs	40,000 円
培良中	視覚障害理解、身体障害者理解、点字体験、車いす体験、B-flower プロジェクト	40,000 円
同志社国際	むつみ会を合唱フェスティバルに招待と事前交流会	15,400 円

② 社会福祉体験学習の実施

夏休み期間を利用して、大住、田辺、培良中学校、同志社国際中・高等学校、府立田辺高校の生徒 87 名が、市内の福祉施設やボランティアグループの活動を体験。8月21日(水)には、参加者全体で振り返り会をして、それぞれの体験を語り合いました。(市内受け入れ施設及びボランティアグループ)

三山木、草内、河原、南山各保育所、大住、松井ヶ丘、みみづく各保育園、幼保連携型認定こども園こもれび、つつきの郷、洛南寮、セピアの園、九十九園、やすらぎの杜、常磐苑デイサービスセンター、たなべ緑の風作業所、あんずデイセンター、ふっとぷりんつ、みかげ、山城就労支援事業所、要約筆記サークル「たけのこ」、ボランティア「コスモス」、田辺点字サークル「すみれ」、認知症予防ボランティア「スペース・虹」、京田辺手話サークルひよこ

4 市民福祉の向上と地域福祉活動の推進

(1) 高齢者福祉事業

- ① 市敬老会の開催（10月19日）と白寿の方（27名）への記念品（ひざかけ）の贈呈
- ② 市内高齢者施設（セピアの園、やすらぎの杜、洛南寮、つつきの郷）の敬老祝賀式への参加（入所者の方にタオルを贈呈）
- ③ ふれあい給食サービスの実施（3月末受給者数：179名、総配食数：3,092食）
ひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯等対象に友愛訪問による給食サービスを提供しました。給食調理については、給食調理ボランティアグループ「あじさい」と市内の老人ホーム（洛南寮、セピアの園、つつきの郷、やすらぎの杜）の協力を得、配食にあたっては、配食ボランティア、民生児童委員、分会長に協力いただき、月2回、夕食として配食しました。また、年5回、高齢者同士及びボランティアとの交流、理解を深めることを目的とした「ふれあいの掲示板」を発行し、給食の配食の際に一緒に届けました。

○給食サービス昼食会

給食受給者と民生委員、ボランティア等の交流の場として昼食会を開催。午後からは相撲甚句を楽しみました。

- ・開催日：令和元年7月17日（水）
- ・参加者：42名（内給食受給者14名）

④ ひとり暮らし高齢者への社会参加促進事業

○ひだまりの会（年8回開催、参加延べ人数：215名）

養護老人ホーム「洛南寮」の入所者が行なっているサークル活動「すこやかサークル」、「カラオケサークル」などに市内在住の高齢者にも開放していただき、企画や準備にボランティアも参加、洛南寮と協働で活動を行った。※2月3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○ふれあい交流会（市内のひとり暮らし高齢者を対象とした交流会）

- ・第1回…令和元年12月6日（金）（参加者：34名、内高齢者17名）
場 所：北部住民センター
内 容：腹話術と歌のアトラクション、みんなの認知症予防ゲーム
- ・第2回…令和2年3月13日（金）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
場 所：中部住民センター

⑤ ひとり暮らし老人の会「むつみ」の支援（会員数：52名）

○主な活動：日帰り旅行（9/5）、忘年会（12/26）、洛南寮初釜会（1/16）、同志社国際中学校合唱フェスティバルへの参加（2/1）、倶楽部活動（太極拳・月3回程度、認知症予防ゲーム・月1回程度）、会報の発行など

④ コスモス喫茶への参加（参加延べ人数：130名）

月4回、特別養護老人ホーム「九十九園」内に開設されているコスモス喫茶（ボランティアコスモスが運営）に市内在住の高齢者にも案内を送付し、参加者への送迎（月1回）を行いました。※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑦ ひとり暮らし高齢者への「ふれあいCD」の発刊

ひとり暮らしの高齢者へ朗読ボランティアサークル「せせらぎ」の協力を得て、毎月

1回「せせらぎおしゃべり訪問」のCDを作成し、18名（3月末現在）に送付しました。

⑧ 市老人クラブ連合会とひとり暮らし老人の会「むつみ」への助成

⑨ 在宅ねたきり高齢者や介護者への支援

○ふとん丸洗いサービスの実施

在宅で療養中の常時介護が必要な60歳以上の方を対象に快適な生活環境を保つことと介護者の負担軽減を目的に実施。

・利用合計数：26回（15名）

○在宅ねたきり高齢者の介護者への情報誌「ささえ」の発刊（年3回）

介護教室や介護者の集い等の情報を掲載し、介護者135名と介護保険事業所等42ヶ所に送付しました。

○一日リフレッシュ事業（日帰り旅行）の実施

・第1回…令和元年7月12日（金）（参加介護者：8名）

内 容：奈良筆作り体験と日帰り入浴

・第2回…令和元年11月27日（水）（参加介護者：9名）

内 容：佐川美術館見学と日帰り温泉

○介護者交流会の開催（参加延べ人数：41名）

介護者を対象に市保健師も交え、介護で抱える悩みや不安などについて意見交換する交流会を毎月第4月曜日（7、11月は一日リフレッシュ事業実施のため実施せず）に実施しました。※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑩ 介護講座の開催

市内在住の市民を対象に介護講座を開催しました。

○第1回（3回講座、三山木福社会館にて）

・1日目…令和元年8月7日（水）（受講者：15名）

認知症サポーター養成講座（講師：本会ケアプランセンター職員）

・2日目…令和元年8月21日（水）（受講者：15名）

介護の方法について

（講師：本会ホームヘルプセンター職員 協力：株式会社 愛安住）

・3日目…令和元年9月4日（水）（受講者：16名）

食事の介護～秋の会席料理～（講師：寺尾 明子 氏）

○第2回（北部住民センターにて）

・開催日：令和2年2月13日（木）（受講者：27名）

・内 容：認知症サポーター養成講座

（講師：せがわ社会福祉事務所 瀬川 哲也 氏、瀬川 彩 氏）

介護保険サービス（小規模多機能型）～施設でのケアや家族との連携～について

（講師：リエゾン健康村 荒井 千鶴 氏）

⑪ 介護の広場の開催

・開催日：令和元年9月30日（月）

・内 容：認知症サポーター養成講座（受講者：30名）

（講師：本会ケアプランセンター職員）

介護講座（受講者：40名）

「嚥下障害ってなあに？～誤嚥性肺炎にならないために」

（講師：田辺中央病院 川尻 英貴 氏）

「在宅介護の方法について」

（講師：本会ホームヘルプセンター職員）

その他、介護食の試食コーナーや福祉用具の展示を行いました。

（2）障がい者福祉事業

- ① 「障害者週間」啓発事業記念式典の開催（参加者：208名京田辺市から46名）
綴喜二市二町の社会福祉協議会と身体障害者団体で、「障害者週間」の意義を啓発することを目的に実行委員会を組織し開催。本年度は井手町社協が担当。12月3日（火）、井手町自然休養村管理センターを会場に記念式典と映画上映『こんな夜更けバナナかよ愛しき実話』や各作業所の授産製品の展示・販売が行われました。なお、12月2日（月）に近鉄新田辺駅、JR松井山手駅周辺でふれあい福祉委員会をはじめ市内各障害者団体等の協力により街頭啓発（啓発物品はウエットティッシュ）を行いました。来年度は京田辺市社協が当番社協。
- ② 障害者団体への助成と行事等への支援
 - ・助成団体等：身体障害者協会、聴覚障害者協会、視覚障害者協会、難聴者協会、障害児(者)父母の会、障がい者スポーツ大会実行委員会
- ③ 買い物支援活動 ※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
移動が困難な人を対象に月1回土か日曜日に送迎・配食ボランティア「やまびこ」の協力により買物支援を行った。（※カッコ内前年度）
 - ・利用登録者数：13名（11名）
 - ・利用者延べ数：13名（24名）
 - ・ボランティア延べ数：25名（50名）
- ④ 障がい者のつどい
 - ・開催日：令和元年12月14日（土） 参加者：50名（内障害者25名）
 - ・内 容：レクリエーション（ボッチャ）と親睦会
- ⑤ 京田辺市障がい者スポーツ大会・友遊フェスタ ※台風接近のため中止
 - ・開催日：令和元年10月12日（土）
- ⑥ 福祉に関する市民向け講座 ※いずれも参加申込がなく中止
 - ・聴覚障がい者の講演と手話体験：令和元年11月22日（金）
 - ・視覚障がい者の講演と手引き体験：令和元年11月13日（水）

（3）青少年児童福祉事業

- ① 子育て講演会の開催
 - ・開催日：令和元年11月17日（火） 参加者：50名
 - ・講演会：講師 中村 喜代美 氏（オフィスハウツリー代表）
演題 『親も子どもも笑顔にする子育てコーチング』
- ② 子育て応援セミナーの開催（りあんへいこっ！プロジェクト）
地域交流スペースを活用して子育て中の保護者を応援するセミナーを行った。

- ・第1回…令和元年10月17日（木） 参加者：7名
内 容：アロマ活用講座①休息編～香りで子育てライフに休息を～
（講師：アロマセラピスト 谷田 祐子 氏）
- ・第2回…令和元年11月21日（木） 参加者：8名
内 容：アロマ活用講座②楽しみ編～香りで子育てライフを楽しもう～
（講師：同上）
- ・第3回…令和元年12月6日（金） 参加者：3名
内 容：絵本の楽しみ方講座～親子で一緒に絵本をよむとき～
（講師：京田辺子ども文庫連絡会）

③ ひとり親家庭小学校入学児童への祝品の贈呈

令和2年2月16日（日）、4月から小学校へ入学するひとり親家庭10世帯にお祝いとして図書カードを贈呈。

④ ひとり親家庭への支援

○親子ふれあいの集いの開催

- ・第1回…令和元年6月16日（日） 参加者：41名（内子ども24名）
内 容：竜王野外活動センターでバーベキューとアウトドアクッキング
- ・第2回…令和2年2月16日（日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
内 容：親子でお餅つき大会

○クリスマス会の開催

親子でクリスマスケーキ作りと人形劇を楽しみ交流を深めた。

- ・開催日：令和2年12月15日（日） 参加者：47名（内子ども22名）

○親と子どもの居場所づくりの開催

- ・第1回…夏休み・令和元年8月18日（日） 参加者：9名（内子ども3名）
内 容：子どもは夏休みの課題等に取り組み、親はハンドマッサージとメイクアップ講座でリフレッシュ。
協 力：講師 林田 仁美 氏と同志社大学生
- ・第2回…春休み ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤ 団体への助成と行事の支援

綴喜連合母子会の「親子いきいき日帰り旅行」と京田辺さくら「駅前清掃とボーリング大会」へ助成。

⑥ 京田辺市子どもの主張大会

発表した児童・生徒に記念品として図書カードを贈呈しました。

- ・開催日：令和元年12月1日（日）
- ・参加者：170名

⑦ 児童虐待防止推進月間の街頭啓発（オレンジリボン運動）

- ・開催日：令和元年11月1日（金）
- ・場 所：JR松井山手駅周辺
- ・参加者：19名（ふれあい福祉委員会委員や民生委員、要保護児童対策協議会など）

(4) ふれあい福祉センター事業（※カッコ内前年度）

心配事や不安など日常生活で抱える様々な問題について解決の糸口を見つけられるよ

う常駐の相談員を配置するとともに、有識者や専門家による相談窓口を開設。
 (多かった相談内容：2位 法律、1位 生計、2位 法律、3位 生きがいなど)

① ふれあい相談室(月～金曜日の午前9時～午後4時)の開設

・相談件数：1,054件(859件)

② 心配ごと相談所(原則毎月10日、25日。午後1時30分～午後4時)の開設

・相談件数：18件(27件)

③ 専門相談の開設

○弁護士相談(年11回、京都弁護士会) ※3月新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・相談件数：43件(53件)

○司法書士相談(年11回、京都司法書士会) ※同上

・相談件数：34件(46件)

○税務相談(年4回、近畿税理士会宇治支部)

・相談件数：8件(7件)

○成年後見制度相談(年11回、成年後見センター・リーガルサポート京都支部) ※同上

・相談件数：10件(16件)

○これからのこと相談(年11回) ※同上

・相談件数：3件(1件)

④ 相談委員によるセミナー及びケース検討会の実施

・第1回…平成31年4月22日(月)

内 容：認知症予防ゲーム体験(講師：スペース虹)

・第2回…令和2年3月12日(木) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

内 容：女性の権利擁護の取り組みと社会における問題点と課題について
 (講師：ウイメンズ・カンセリング 京都 代表 井上 摩耶子 氏)

・第3回(外部研修)…令和2年3月14日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

内 容：自殺予防ゲートキーパー養成研修会基礎編

(講師：京都文教大学 臨床心理学部 准教授 松田 美枝 氏)

(5) 福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)

原則毎月1回(30日)に「これからのこと相談」の窓口を開設しました。生活支援員等による支援した利用者は26名。

(6) 貸付事業

① 生活福祉資金の貸付状況

(※カッコ内前年度)

種 類	件 数	世帯数	貸 付 金 額 (円)
総合支援資金	2(1)	1(1)	444,000(165,000)
教育支援資金	17(27)	9(26)	6,108,000(9,811,000)
福祉資金・福祉費(生活必需品等)	9(12)	9(12)	1,055,000(1,545,000)
福祉資金・緊急小口資金	2(1)	2(1)	200,000(100,000)
合 計	30(41)	21(40)	7,807,000(11,621,000)

② 生活福祉資金償還状況の報告

各地区の民児協会長、借受者担当民生委員へ報告書を提出し、滞納者については担当民生児童委員と連携して償還について検討対応しました。

③ 緊急小口資金の貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等による緊急の特例貸付の受付を3月25日から開始しました。

5 在宅福祉・介護保険事業の推進

(1) ホームヘルプセンター事業

介護保険制度における要介護、要支援の認定を受けた方が対象となる訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業と自立認定を受けた高齢者及び支援が必要と認められた産前・産後の産婦の方に対するホームヘルプ事業と、障害者総合支援法に基づく身体障害者、知的障害者、精神障害者を対象とした障害福祉サービス事業及び移動支援事業を展開し、自立と社会参加の促進に向けたサービスの提供を行いました。

① 職員体制

センター長（サービス提供責任者兼務）1名、サービス提供責任者6名、非常勤ヘルパー18名で業務にあたりました。

② 派遣活動実績

(※カッコ内前年度)

区 分	派遣延べ回数	利用者実人数
介護保険（訪問介護）	7,520回(9,592回)	96人(84人)
介護予防・日常生活支援総合事業 （介護予防相当）	1,608回(2,089回)	39人(44人)
介護予防・日常生活支援総合事業（緩和型）	一回(404回)	一人(12人)
障害福祉サービス（居宅介護）	1,011回(817回)	14人(11人)
障害福祉サービス（重度訪問介護）	0回(0回)	0人(0人)
高齢者生活支援ヘルパー派遣事業（市委託）	18回(56回)	2人(5人)
産前産後ヘルパー派遣事業（市委託）	145回(202回)	14人(19人)
生活サポート事業（市委託）	23回(15回)	2人(1人)
移動支援事業（市委託）	134回(109回)	7人(5人)
介護保険外サービス	62回(45回)	7人(7人)

③ 会議及び研修の実施

利用者の状況やサービスの内容などの確認や検討及びヘルパー間で情報が共有できるよう常勤、非常勤職員による合同会議を月1回行いました。また、認知症や接遇など利用者への適切な対応がはかれるよう研修を行いました。

④ ヘルパーの健康管理事業等

- ・健康診断の実施
- ・インフルエンザ予防ワクチン接種に対する補助

⑤ 保険制度等への加入

福祉事業者総合保障制度（傷害保険、賠償責任保険）ならびに労災保険への加入

(2) デイサービス事業

要介護、要支援の認定を受けた方が対象となる地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業等のサービスを提供。

① 職員の配置

センター長1名（常勤・生活相談員、介護職員兼務）、介護職員6名（常勤1名、非常勤5名内1名生活相談員兼務）、機能訓練指導員2名（常勤1名、非常勤1名看護職員兼務）、看護職員3名（非常勤、内1名機能訓練指導員兼務）、運転職員2名（非常勤）を配置し業務にあたりました。

② 事業実績

(※カッコ内前年度)

区 分	延べ利用回数	利用者実人数
介護保険（地域密着型通所介護）	2,794回（3,117回）	52人（55人）
介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防相当）	335回（311回）	6人（5人）

③ サービス内容

個別機能訓練、レクリエーション、生活相談、健康チェック、健康指導、入浴、昼食、送迎等の各サービスの提供、個別通所介護計画の作成（昼食の調理は、セピアの園に委託）

④ 運営推進会議の開催（2回）

⑤ 事業実施の調整及び研修の受講等

利用者の健康状態や情報の共有、デイサービスの運営など職員間で意見交換を図るため月1回職員会議を実施し協議を行いました。

(3) 居宅介護支援事業

介護保険事業における居宅介護支援事業者として、ケアプランの作成、介護保険サービス事業所や関係機関との連絡調整等、要介護認定に伴う訪問調査を実施。

① 職員の配置

センター長1名（主任介護支援専門員）のもとに、介護支援専門員（ケアマネジャー）を5名（看護師1名、介護福祉士3名、保健師1名）で業務にあたりました。

② 事業実績

(※カッコ内前年度)

区 分	給付管理月平均、実利用者等
介護保険（居宅介護支援）	給付管理月平均：165件（160件）
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（市委託）	実利用者数：4人（4人）
要介護認定訪問調査（市委託）	訪問調査件数：86件（104件）

(4) 地域窓口相談事業

相談員1名配置し、要援護者、介護者等の在宅介護に関する総合的な相談にも応じるとともに、相談ニーズに応じた各種の福祉、サービスが総合的に受けられるよう市地域包括支援センター、介護保険サービス事業所等との連絡や調整等を行いました。

① 相談事業実績（※カッコ内前年度）

（相談内容）

・介護保険認定関係	8件（12件）
・在宅サービス関係（住改・福祉用具以外）	2件（1件）
・介護保険住宅改修・福祉用具関係	40件（25件）
・施設入所関係	4件（6件）
・認知症及び精神保健相談	1件（1件）
・高齢者福祉サービスにかかる相談	3件（2件）
・医療、健康にかかる相談	3件（4件）
・介護者（家族）の健康にかかる相談	0件（1件）
・その他	1件（0件）

相談延べ件数：62件（52件）

(5) おたっしゃ応援事業

市内在住の65歳以上の高齢者を対象に外出する機会や気力が薄れ、体力的にも不安で家にこもりがちな方、交友関係やコミュニケーションをはかりたい方をはじめとして、高齢者が心身ともに元気で健やかに過ごせるよう、介護予防を目的とした内容（血压測定や健康相談、体操やモノづくりなど）で実施。運営にあたっては、社協地域役員をはじめ区・自治会や民生児童委員、老人会などの協力をいただきました。

① 実施地域：14地域（17地域）（※カッコ内前年度）

大住ヶ丘、松井ヶ丘、健康ヶ丘、健康村、薪、田辺、府営団地、東住宅、西住宅、草内、新興戸、飯岡、多々羅、同志社住宅

② 実施回数：78回（79回）

③ 参加延べ人数：1,411人（1,340人）

(6) 認知症サポーター養成講座

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるために認知症について、正しい知識や対応についての講座を実施。

① 一般講座（3回）と出前講座（1回） 受講者：合計84名

② 小中学校（6校）※1校コロナのため中止 受講者：合計400名

(7) 毎日型有料配食サービス（社協のばんごはん）事業

食事の準備等が困難な高齢者や障害者を対象に、食生活の向上と安否確認することを目的に、夕食を提供。サービス希望者は、会員として登録して、夕食の配食希望日（月曜日～土曜日の内1日以上）と調理方法（一般食、一口食、きざみ食）を選択の上、調理業者が指定日に配食。（調理配食委託業者：まごころ弁当）

① 事業実績（※カッコ内前年度）

- ・登録会員数：48名（42名）
 - ・総配食数：5,646食（6,343食）
- ② 利用料等
- 年会費1,000円、一食480円（生活保護受給者は380円）を徴収。